

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2025-02-05

改訂番号 2

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ANTIBODY PREPARATION - #10451

安全データシート 番号 10451

安全データシート の供給者の詳細

製造者 日本法人/連絡先住所 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Bio-Rad 140-0002 **Endeavour House**

東京都品川区東品川2-2-24 Hercules, CA 94547 Langford Business Park 天王洲セントラルタワー20F Kidlington USA バイオ・ラッド ラボラトリーズ

Oxford OX5 1GE 株式会社

United Kingdom

e-mail:

antibody_safetydatasheets@bio-ra

d.com

03-6404-0331 テクニカルサービス

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 研究用途のみ 使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもな	()
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 - 急性	分類できない
水生環境有害性 - 慢性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS**ラベル要素**

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

注意書き 安全対策

・該当しない

ページ 1/7

応急措置 ·_該当しない

·該当しない

廃棄

・該当しない

他の危険有害性

軽度の皮膚刺激。 動物由来の成分が含まれています。(ウシ)。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベーントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.1 - 0.249	既存	(1)-482	既存	(1)-482

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

ページ 2/7

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

製品とラベルの指示に従って保管してください。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アジ化ナトリウム 26628-22-8	-	_	Ceiling: 0.29 mg/m³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 生物学的許容値

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用すること。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。

ページ 3/7

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 液体 物理状態 液体 変化する 色 身い 情報なし 臭いのしきい値 情報なし

<u>値</u>__ データなし データなし <u>備考 ・方法</u> 情報なし 情報なし 可燃性 データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし データなし 爆発又は可燃の下限界

該当しない 引火点 情報なし データなし 580 ° C / 1076.0 ° F データなし 蒸発速度 自然発火点 情報なし

情報なし 分解温度 データなし 情報なし

粘度 動粘性率 データなし 情報なし データなし

動的粘度 情報なし 水への溶解度 水に可溶 情報なし

n ーオクタノール/水分配係数(log値) 素気圧 データなし データなし 情報なし データなし 情報なし 密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

通常の条件下で安定。 化学的安定性

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 アジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと 反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性_</u>

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

以下の値はGHS**文書の第**3.1**章に基づいて算出されている ATEmix(経口)** 25,594.50 mg/kg

ATEmix(経口) 25,594.50 mg/kg **ATEmix(経皮)** 416,666.70 mg/kg

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
アジ化ナトリウム	= 27 mg/kg (Rat)	= 20 mg/kg (Rabbit)	0.054 - 0.52 mg/L (Rat) 4 h

<u>略語及び頭文字</u> Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 長期にわたり接触すると発赤及び刺激を引き起こすおそれがある。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 **吸入**
この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 軽度の皮膚刺激。

眼接触この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 軽度の皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤え**ん有害性** 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
アジ化ナトリウム	_	LC50: =0.8mg/L (96h,	-
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	
		LC50: $=5.46$ mg/L (96h, Pimephales	
		promelas)	

JGHS / JP ページ 5 / 7

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. **廃棄上の注意**

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してくださ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 ADR 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 規制対象外 日本.

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法**

危険物

労働安全衛生法施行令別表第1

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法

自己反応性物質、第5類、第1種、危険等級I、10kg

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1 水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、第2条、及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条の4に定める特別管理産業廃棄 物

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物 大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2025-02-05 改訂日

改訂記録 この安全デ -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例項目8: ばく露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)天 天井値 最大限界值 Sk* 経皮吸収 感作性物質

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

米国環境保護庁

条件はない。 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

米国環境保護庁高生産単化子物員フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医子図書館のPubMedナーダベース(NEM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

公見予切 この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合 には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり